

施工前に必ずご確認ください

床排水トラップ施工説明書

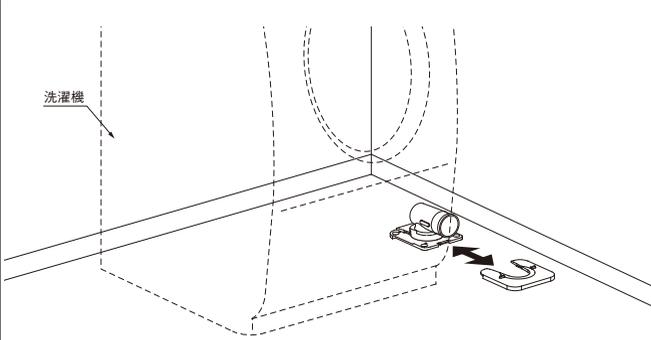
RTS-50S

RTS-50S-A
(ホース接続固定バンド付)

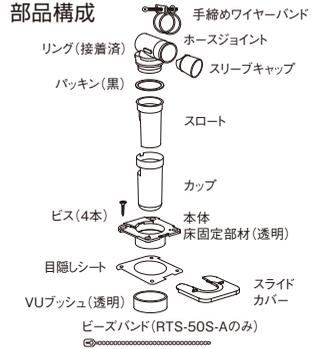
(VP50-VU50)

◎重要 本製品は洗濯機正面側に向かってスライドカバーが取り外せるように施工してください。

- ・スライドカバー取り外しに必要なスペースを必ず確保してください。
- ・壁と平行になるように施工してください。

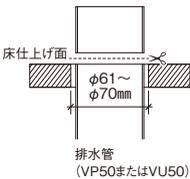


部品構成

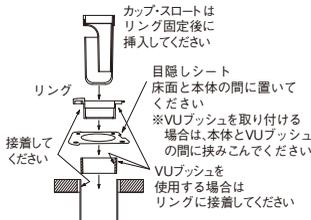


施工手順

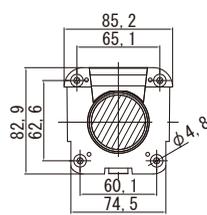
●床仕上げ面 図1



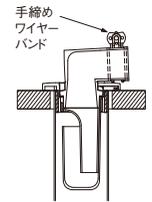
●トラップの施工 図2



●本体のビス止め 図3

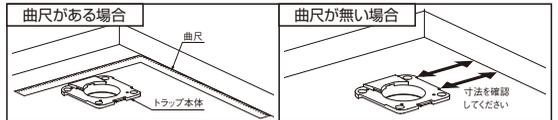


●手締めワイヤーバンドの取付位置 図4



※施工前に排水管がVP50-VU50であることをご確認ください。

- ①床面に排水管を貫通させる穴をφ61～φ70mmとしてください。※図1
- ②床面を仕上げ、排水管を仕上げ面で切ってください。※図1
- ③本体よりスライドカバー、カップ、スロート、パッキン、ホースジョイントを取り外します。※図2
- ④目隠しシートを床面と本体の間に置いてください。(本体の向きやビス穴の位置に合わせて置いてください)
※VUプッシュを接着する場合は先に目隠しシートを本体とVUプッシュの間に挟み込んでから接着してください。※図3
- ⑤排水管と本体に有色の接着剤を塗布し、本体を排水管に差し込んでください。
(VU管に接着する場合はVUプッシュを本体に接着してからプッシュ外周部に有色の接着剤を塗布し、本体を排水管に差し込んでください)
- ⑥接着剤が硬化する前に、右記のように曲尺等を使用して壁と平行に設置してください。
- ⑦本体をビス止めてください。※図3
- ⑧カップ、スロート、パッキン、ホースジョイントの順で本体に取り付け、スライドカバーをはめてカチッという音がするまでしっかりとロックしてください。
- ⑨付属の手締めワイヤーバンドは、ホースジョイントに取り付けておいてください。※図4
- ⑩紛失防止のため、ビーズバンドは必ずワイヤーバンドに取り付けておいてください。(RTS-50S-Aの場合)



施工上の禁止事項

- グリス等の潤滑剤は絶対に使用しないでください。(樹脂を劣化させる恐れがあります)
- スライドカバーは本体にカチッという音がするまでしっかりと挿入してください。(水漏れの原因となります)

ご使用になる方に必ずお渡しください

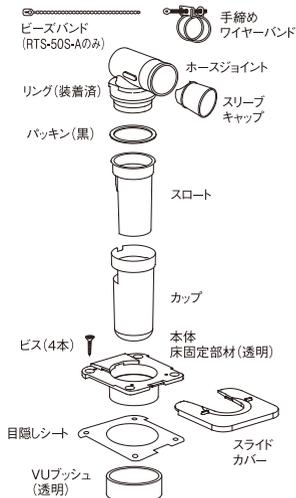
床排水トラップ取扱説明書

RTS-50S

RTS-50S-A
(ホース接続固定バンド付)

(VP50-VU50)

排水ホース接続時の注意



使用上の注意

●トラップに熱湯(50℃以上)やシンナー等の溶剤を流さないでください。
(トラップが変形して水漏れの原因になることがあります)

- ①洗濯機の排水ホースを接続する際に、排水ホースに付属のスリーブキャップを挿入してください。(挿入していないと、排水ホースの剛性が弱くなり、ホース差込口からの水漏れの原因となります) ※図1
洗濯機ホースに既に装着されている場合もあります。
- ②排水ホースはホースジョイントに確実に差し込んでください。
- ③手締めワイヤーバンドでしっかり締め込みを行ってください。 ※図2
- ④洗濯機排水ホースの抜けを二重に防止する為、ベーズバンドを手締めワイヤーバンドの穴に通し、排水ホースのフックと固定してください。(RTS-50-Aの場合) ※図2

図1

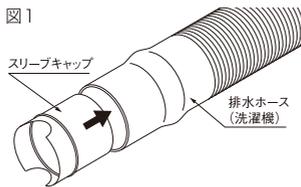
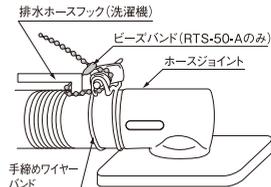


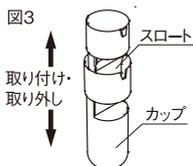
図2



排水トラップの清掃方法 (取り外し方法)

- ①洗濯機の排水ホースを取り外します。(この際、排水ホースに残っている排水が出てくる場合があります)
- ②スライドカバーを取り外し、ホースジョイントを引き抜いてください。
- ③ホースジョイントと共にスロートとカップが本体より引き抜かれますので、スロートとカップを分解します。その後、清掃を行ってください。 ※図3

図3



<組み立て方>

- ④本体にカップとスロートを入れます。
その上にパッキンを載せてください。 ※凹凸を揃えて差し込みしてください
- ⑤ホースジョイントを本体に差し込みます。このときリングと本体を図4のように合わせるように設置してください。
- ⑥本体にカバーをスライドさせてカチッという音がするまでしっかりと挿入してください。

排水ホースの向きの変え方

- ①スライドカバーを取り外し、ホースジョイントの向きを変えてください。その際、ホースジョイントのリング部分と本体の位置を合わせてください。
- ②カバーをスライドさせてはめ込み、ロックさせてください。

図4



- スロート・カップ内部にゴミ詰まり等が無いように、定期的(年1~2回)に清掃してください。ゴミ詰まりがあると洗濯機で排水エラーが起こることがあります。
- スライドカバーは本体にカチッという音がするまでしっかりと挿入してください。(水漏れの原因となります)

株式会社テクノテック

■本社■
〒113-0033
東京都文京区本郷3-6-6
本郷OGビル3F
TEL:03-5800-4477 FAX:03-5800-4196

■大阪支店■
〒530-0001
大阪府大阪市北区梅田1-2-2
大阪駅前第2ビル 1202
TEL:06-6676-8900 FAX:06-6676-8901



製品情報及び
詳しい仕様等の
情報はこちらから

<https://www.technotech.co.jp/>

EM034-03(2307)